

令和2年度の学校経営の評価

1 年度の重点教育目標

| | | | | |
|-------------|---------------------|---|---|---|
| 本年度の重点教育目標 | | 知 主体的、対話的に学習に取り組み、自ら考え進んで表現することができる。 | 徳 人と好ましい人間関係を築き、互いに認め合い自己有用感を高めることができる。 | 体 健康や運動に関心をもち、逞しい身体をつくり、命を大切にすることができる。 |
| 育成を目指す資質・能力 | (ア) 知識及び技能の習得 | <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な内容の理解 ・学び方の技能（話し方・聞き方、学習の進め方等） | <ul style="list-style-type: none"> ・向上心・思いやりなどの道徳的価値の理解 | <ul style="list-style-type: none"> ・運動の大切さの理解や基本的な運動技能 ・身近な生活における健康・安全の理解 |
| | (イ) 思考力・判断力・表現力等の育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・物事の中から問題を見だし、見通しをもって解決する力 ・必要な情報を収集・選択し、自分の考えをまとめ、表現する力 | <ul style="list-style-type: none"> ・多様な価値観を認め、多面的に考えようとする力 | <ul style="list-style-type: none"> ・運動や健康・安全について課題を見つけ、解決に向けて考え判断する力 |
| | (ウ) 学びに向かう力、人間性等の涵養 | <ul style="list-style-type: none"> ・最後までやり抜こうとする意志 ・他と協力して解決しようとする態度 | <ul style="list-style-type: none"> ・思いやりをもって他と関わろうとする力 ・自らのよさを進んで発揮しようとする態度 | <ul style="list-style-type: none"> ・運動に親しみ体力の向上を目指す態度 ・健康・安全な生活を目指し、楽しく明るい生活を営む態度 |

2 年度の重点教育目標の評価

重点教育目標 1【知】の自己評価

指導の重点との関わり

- (1) 主体的・対話的で深い学びによる確かな力を育む学習指導
 (4) 地域の特色や今日的課題を踏まえた総合的な学習の時間

(○：達成 △：不十分)

| 指標 | 評価指標 | | 達成状況 |
|--|---|---|------|
| | (ア)知識及び技能(イ)思考力・判断力・表現力等(ウ)学びに向かう力・人間性等 | | |
| 成果 | 全ての子どもが基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができている。 | | △ |
| 取組 | ア | チャレンジテスト全道平均以上 | ○ |
| 取組 | ア | 学習規律の徹底を図る。【教職員自己評価】 達成率3.2以上&【生徒アンケート】 3.2以上 | ○ |
| 取組 | イ | 生徒たちが自分の考えをもち、議論する対話的な学びがある授業を実現する。【教職員自己評価】 達成率3.2以上&【生徒アンケート】 3.2以上 | ○ |
| 取組 | イ | TT指導や少人数指導・学習形態の工夫など、個に応じた学習の充実を図っている。【教職員自己評価】 達成率2.8以上 | ○ |
| 取組 | イ | 外国語では「聞くこと」「話すこと」を通して外国語に慣れ親しませる指導を行う。【教職員自己評価】 達成率3.2以上 | ○ |
| 【改善策】 基礎学力の向上が課題となっている。学校から毎日出している「家庭学習ホームワーク」の提出率は高いが、知識として定着するだけの時間をかけていない。 「学ぶ楽しさ」を感じることができる授業を行い、家庭学習に対して意欲的に取り組めるようにサポートをしていく。また、低学力の生徒については、放課後学習会の設定など学校で学び直しの機会を作る。 | | | |

重点教育目標 1【知】の学校関係者評価

| | | |
|--|--|---|
| 自己評価の適切さ | A：適切な評価である B：ほぼ適切な評価である C：やや不適切な評価である D：不適切な評価である | A |
| 改善に向けた取組の適切さ | A：十分な効果が期待できる B：ある程度の効果が期待できる C：あまり効果が期待できない D：改善を要する | B |
| 【学校関係者の意見等】 ○次年度の学校評価では、基礎・基本が定着していることを願います。 ○タブレット端末を有効に活用してほしい。 | | |

重点教育目標 2【徳】の自己評価

指導の重点との関わり

- (2) 豊かな心を育む道徳教育
- (3) 個と集団のよさを実感する特別活動
- (5) 自己をよりよく導く生徒指導
- (7) よりよい生き方を目指すキャリア教育

(○：達成 △：不十分)

| 指標 | 評価指標 | | 達成状況 |
|--|--|---|------|
| | (ア)知識及び技能(イ)思考力・判断力・表現力等(ウ)学びに向かう力・人間性等 | | |
| 成果 | 人と良好な関係を築き自他のよさを認めることができている。 | | ○ |
| 取組 | 道徳の時間を要とした道徳的実践や命を大切にする指導の充実に取り組んだ。【教職員自己評価】 達成率2.8以上 | | ○ |
| 取組 | 日常的な学級指導や学級経営から仲間はずれを出さない風土作りに努めている。【教職員自己評価】 達成率2.8以上 | | ○ |
| 取組 | 全教育活動を見通した全体計画と発達段階に応じた指導計画の作成と実施を行っている。【教職員自己評価】 達成率2.8以上 | | ○ |
| 取組 | ウ | 職場体験や進路指導などを通して、自分の将来に夢をもち、自己の生き方について考えることができた。 【生徒アンケート】 達成率2.8以上 | ○ |
| 取組 | マイノートを活用するなどして、自他のよさに気付き、互いに認め合う活動を重視した【教職員自己評価】 達成率3.2以上 | | ○ |
| <p>【改善策】 概ね目標は達しているが、人間関係のトラブルは発生している。コロナ禍において様々なストレスを感じているので、相談活動を大切にし、悩みや思いを共有できるように努める。また、いのちの授業など外部講師を活用した授業を引き続き実施し、地域全体で子どもを育てる教育活動を進めたい。</p> | | | |

重点教育目標 2【徳】の学校関係者評価

| | | |
|---|--|---|
| 自己評価の適切さ | A：適切な評価である B：ほぼ適切な評価である C：やや不適切な評価である D：不適切な評価である | A |
| 改善に向けた取組の適切さ | A：十分な効果が期待できる B：ある程度の効果が期待できる C：あまり効果が期待できない D：改善を要する | B |
| <p>【学校関係者の意見等】 ○コロナ禍で難しいことではございますが、職場体験などを通し、また、ゲストティーチャーを迎えるなどして醸成していただきたい。</p> | | |

重点教育目標3【体】の自己評価

指導の重点との関わり

- (1) 主体的・対話的で深い学びによる確かな力を育む学習指導
 (10) 生命を尊び、自ら心身を鍛える健康教育

(○：達成 △：不十分)

| 指標 | 評価指標 (ア)知識及び技能(イ)思考力・判断力・表現力等(ウ)学びに向かう力・人間性等 | | 達成状況 |
|---|---|--|------|
| 成果 | | 自ら体力を高め、健康・安全に気を付けることができている。 | ○ |
| 取組 | ア イ | 新体力テストの結果 達成率全国平均以上 | △ |
| 取組 | ア | 地域・関係機関と連携して、健康・安全の理解を深める指導を充実させた【教職員自己評価】 達成率3.2以上 | ○ |
| 取組 | イ | 保健体育の授業では、授業の目標を示したり、学習の振り返りを行ったりした【教職員自己評価】【児童アンケート】 達成率3.2以上 | ○ |
| 取組 | ウ | 家庭・地域との連携による望ましい生活習慣を育成する取組が成果を上げた【新体力テスト・児童アンケート・保護者アンケート】 達成率3.2以上 | ○ |
| 取組 | | 避難訓練や交通安全指導を計画的に実施したりして、日常・非常時の危機管理は周知徹底されている。 【教職員自己評価】 達成率2.8以上 | ○ |
| <p>【改善策】 体育授業に対する満足は高い。多くの生徒が授業において運動の楽しさ感じている。新体力テストの全国平均を越えることができなかつたが、自己の長所短所を結果からつかみ、スポーツライフに生かせるようにサポートしていく。 また、スマホなどによる夜更かしから起因する生活リズムの乱れが、学校生活に大きな影響を与えているので、生徒の生活環境の課題に応じた指導を進める。 また、危機管理マニュアルについては定期的に見直しをし、訓練を通して課題を明確にし、さらなる改善に努める。周知徹底もさらに取り組む。</p> | | | |

重点教育目標3【体】の学校関係者評価

| | | |
|---|--|---|
| 自己評価の適切さ | A：適切な評価である B：ほぼ適切な評価である C：やや不適切な評価である D：不適切な評価である | A |
| 改善に向けた取組の適切さ | A：十分な効果が期待できる B：ある程度の効果が期待できる C：あまり効果が期待できない D：改善を要する | B |
| <p>【学校関係者の意見等】 ○成長期における体力向上の大切さを理解させ、授業の始めに体力向上の運動を取り入れるなど、工夫した取り組みを進めてほしい。</p> | | |